

法蔵館書店ニュース 4月

目次

話題の本	P1	特集1:世界の「服飾文化」について学ぶ	P16~17
法蔵館新刊案内	P2~5	特集2:性差別を考える	
法蔵館重版案内	P6	~春・新しい環境を乗り切るために~	P18
法蔵館刊行予定案内	P6~7	お知らせ	P19
法蔵館書店のおすすめ本	P7~15	法蔵館書店ベスト10・メール配信サービスご案内	P20

★お知らせ★4、5月の書店休業日

4月のお休み:6日・13日・20日・27日

5月のお休み:3~6日・11日・18日・25日

話題の本

●図書新聞(2025/3/8)

『植民地朝鮮の予言と民衆宗教』

朴 海仙著・四六判・256頁・3,080円

ISBN:978-4-8318-5586-2

●浄土宗宗報・和合 3月号(2025/3/1)

『選択集の成立と展開—廬山寺本を中心に』

春本龍彬著・A5判・926頁・19,800円

ISBN:978-4-8318-6073-6

●ともしび(2025/3/1)

●点字毎日(2025/2/25)、[活字版](2025/2/27)

『あきらめる勇氣

—「見えなくなった」僕を助けてくれたのは」

松永信也著・A5判・128頁・1,540円

ISBN:978-4-8318-5620-3

★各紙で掲載!

●中外日報(2025/2/28)

『親鸞の生涯と高田門徒の展開』

【平松令三遺稿論文集1】

平松令三著・A5判・372頁・11,000円

ISBN:978-4-8318-8761-0

●京都新聞[朝刊](2025/2/25)

●中外日報(2025/2/21)

『絵葉書にみる日本近代美術100選』

劉 建輝編著・四六判・144頁・1,760円

ISBN:978-4-8318-5654-8

★各紙で掲載!

●クロワッサン No.1136(2025/2/25)

●東奥日報(2025/2/17)

『国際理解には宗教がほぼ半分

—外国ルーツの隣人を知るために』

三木 英著・四六判・256頁・2,420円

ISBN:978-4-8318-7783-3

★各紙で掲載!

●北日本新聞(2025/2/22)

『立山地獄谷のあだ討ち

—十返舎一九『越中楯山幽霊邑警討』を読む』

福江 充著・四六判・160頁・1,650円

ISBN:978-4-8318-6290-7

●ちえうみPLUS(2025/2/21)

『仏法と怪異—日本靈異記の世界』

武田比呂男著・A5判・264頁・3,850円

ISBN:978-4-8318-6277-8

●日本経済新聞(2025/2/15)

『唯識—これだけは知りたい』

加藤朝胤監修 船山 徹・石垣明貴記著

四六判・336頁・1,650円・ISBN:978-4-8318-7771-0

●立命館史学 44号(2025/2/14)

『日本古代の国家・王権と宗教』

本郷真紹監修 山本 崇・毛利憲一編

A5判・700頁・19,800円

ISBN:978-4-8318-6281-5

春本龍彬先生……令和6年度 浄土宗学術賞 受賞!

祝
受賞!

『選択集の成立と展開

—廬山寺本を中心に』

春本龍彬著・A5判・926頁・19,800円・ISBN:978-4-8318-6073-6

ためし読み



選

択

集



法蔵館文庫

◆道元禅師のことは「修証義」入門

【仏教／禅宗】

有福孝岳著・文庫判・276頁・1,210円・ISBN:978-4-8318-2693-0

道元『正法眼蔵』の真髄をまとめた『修証義』の一文ごとについて、原典との関係を明らかにしつつ、丁寧な解説を加えた入門書。

■目次

- まえがき——『修証義』と『正法眼蔵』
 『修証義』入門——『修証義』とはいかなるものなのか
 第一章 総序
 第二章 懺悔滅罪
 第三章 受戒入位
 第四章 発願利生 ほか

ためし読み



◆能に憑かれた権力者——秀吉能楽愛好記

【歴史／芸能】

天野文雄著・文庫判・392頁・1,650円・ISBN:978-4-8318-2694-7

秀吉の能楽熱狂の前夜から、朝鮮出兵以後まで丹念に辿り、多彩で精力的な愛好の実態を通して、後世の能楽史に与えた影響に迫る。

■目次

- 序章 武将の能楽愛好——秀吉まで
 第一章 名護屋以前
 第二章 文禄二年肥前名護屋
 第三章 文禄二年禁中能
 第四章 能楽三昧の日々
 第五章 豊公能の新作 ほか

ためし読み



◆近代日本の仏教思想と〈信仰〉

【宗教史／近代】

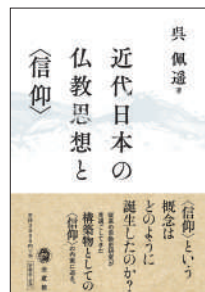
呉 佩蓮著・四六判・264頁・3,300円・ISBN:978-4-8318-5588-6

「宗教」概念研究のなかで見過ごされてきた「信仰」概念の近代的形成に初めて焦点を当て、日本宗教史に新知見をもたらした画期的成果。

■目次

- 第一章 「文明」の時代における「信」の位相
 第二章 「仏教改良」と「信仰」
 第三章 「迷信」と「信仰」のはざま
 第四章 「新仏教」とユニテリアン
 第五章 「新仏教」の夜明け ほか

ためし読み



◆中論講義 下

【仏教】

立川武蔵著・四六判・310頁・3,850円・ISBN:978-4-8318-2484-4

龍樹の論法とは、いかに形式論理学によるものだったのか。
『中論』の偈一つひとつを丁寧に解説して、龍樹の論法を解明する。

■目次

- 第一六章 束縛と解脱の考察
- 第一七章 行為と結果の考察
- 第一八章 我と無我の考察
- 第一九章 時の考察—過去・現在・未来—
- 第二〇章 結合の考察—因と縁—
- 第二一章 生成と消滅の考察
- 第二二章 如来と構成要素の考察
- 第二三章 錯誤と真実の考察 ほか

ためし読み



◆大乘仏教がひらいた 妙好人の世界

【仏教】

菊藤明道著・A5判・416頁・4,950円・ISBN:978-4-8318-2356-4

妙好人を世界に知らしめた鈴木大拙をはじめ、柳宗悦、楠恭氏などの妙好人研究の軌跡を辿り、その霊性的世界と今日的意義を問う。

■目次

- 第一章 「妙好人」とは
- 第二章 『妙好人伝』の成立
- 第三章 妙好人を研究紹介した人びと
- 第四章 妙好人の信心と生活
- 第五章 現代の妙好人的人物
- 第六章 現代社会における妙好人の意義

ためし読み



◆清水寺 成就院日記 第九巻

【日本史／史料】

清水寺史編纂委員会編・A5判・412頁・9,900円・ISBN:978-4-8318-5159-8

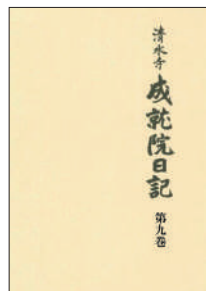
京都・清水寺の門前町の行政を記録した江戸時代の約170年分の公用日記。第九巻は明和8年～安永3年までを収録。

■目次

- 六十一 成就院日記 明和八卯年 正月～十一月
- 六十二 成就院日記 明和九(安永元)辰年 正月～十二月
- 六十三一 成就院日記 安永二巳年 正月～五月
- 六十三二 成就院日記 安永二巳年 六月～十二月
- 六十四一 成就院日記 安永三年 正月～六月
- 六十四二 成就院日記 安永三年 七月～十二月

解題(下坂守)

ためし読み



◆貞慶撰『唯識論尋思鈔』の研究

【仏教学】

——「別要」教理篇・中1

龍谷大学仏教文化研究叢書55

楠 淳證編・A5判・1,168頁・19,800円・ISBN:978-4-8318-7788-8

解脱房貞慶の代表作『尋思別要』の論議テーマ七十余条のうち十一条について翻刻・訓読・語註・解説を掲載する翻刻読解研究書。

■目次

第一部 総 論

第一章 法相教学の相承と展開

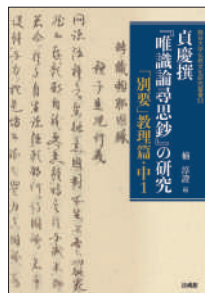
第二章 貞慶の事跡と思想

第二部 『唯識論尋思鈔』（別要）の翻刻読解研究

第五章 有為相段・無為段（論第二卷）

第六章 猛赤段・三相段（論第二卷） ほか

ためし読み



◆森田眞円先生古稀記念論集 真宗の教学と実践

【仏教／真宗】

森田眞円先生古稀記念論集刊行会編・A5判・406頁・7,700円
ISBN:978-4-8318-7790-1

浄土真宗本願寺派の教学・伝道研究の中枢を担ってきた森田眞円先生のご逝去を祝し、有志十数名による論文・エッセイを集めた記念論集。

■目次

口絵 森田眞円先生近影

刊行にあたって……高田文英

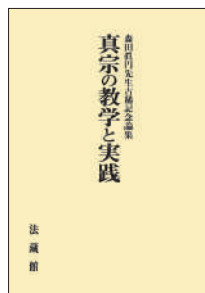
森田眞円先生 略歴並びに著作論文目録

第一部 善導教学と親鸞教学

第二部 真宗の伝道実践

執筆者紹介

ためし読み



◆光定撰『伝述一心戒文』の基礎的研究

【史料／仏教】

大久保良峻・川尻秋生編著・A5判・436頁・9,900円・ISBN:978-4-8318-6291-4

最澄寂後の初期天台の具体的な様相を知ることのできる数少ない文献、光定撰『伝述一心戒文』を教学・歴史学の立場から解明する。原文・書き下しに詳細な校異・訳註を付す。

■目次

【解説篇】

歴史学から見た『伝述一心戒文』（川尻秋生）

日本天台の仏教と『伝述一心戒文』（大久保良峻）

【訳註篇】

凡 例

巻上

巻中

巻下（一心戒文を造り承和の皇帝に達して別当藤原大納言に上り寺家の伝戒を成弁する文） ほか

ためし読み



◆相国寺史 第四巻——史料編近世近現代

【日本史／史料】

相国寺史編纂委員会編・原田正俊・伊藤真昭監修・A5判・838頁・9,900円
ISBN:978-4-8318-5254-0

本坊・塔頭に残された約三万点にも及ぶ膨大な文書から、近世・近現代における相国寺の動向や変化を知るうえで重要なものを精選し収録。近世・近代史研究者注目の書。

■目次

刊行にあたって(伊藤真昭)

近世編

凡例

細目次

史料

近現代編

凡例

細目次

史料

『相国寺史料』網文一覧

ためし読み



◆『教行信証』全訳と註釈 上巻

【仏教／真宗】

長野一著・A5判・378頁・3,300円・ISBN:978-4-8318-8808-2

親鸞の主著『教行信証』を原文に即して現代語訳し、さらに引用文の原典をも校合して独自の註釈を施した、親鸞思想に肉薄する意欲作。

■目次

顕浄土真実教行証文類序

顕浄土真実教文類一

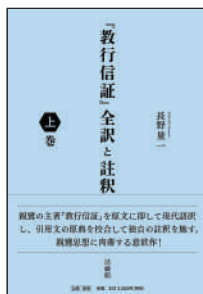
顕浄土真実行文類二

顕浄土真実信文類三

顕浄土真実証文類四

主要参考文献

ためし読み



◆モンパとブロクパの衣装民族誌

【文化人類学】

——アルナーチャル・プラデーシュ西部、ブータン東部、チベット南部

脇田道子著、ティモテウス・アドゥリヤヌス(ティム) ボット寄稿
A5判・272頁・3,630円・ISBN:978-4-8318-6294-5

インド、ブータン、中国(チベット)の国境地帯に住む民族「モンパ」「ブロクパ」の伝統的衣装についての民族誌。著者撮影のカラー写真多数掲載。全てに英文を併記。

■目次

地図

第1章 地域の概要

第2章 モンパの民族衣装を読む

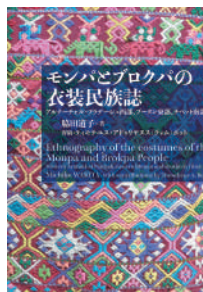
第3章 牧畜民ブロクパの谷 メラとサクテン

第4章 染める・織る・運ぶ

第5章 シンカに必須の腰当て布

第6章 民俗芸能に残る衣装 ほか

ためし読み



法蔵館重版案内

【基礎から学ぶ浄土真宗1】

◆阿弥陀仏と浄土——親鸞が歩んだ道

内藤知康著・A5判・200頁・2,200円・ISBN:978-4-8318-7931-8

人気の授業を書籍化！真宗学の第一人者が、浄土真宗の教義を理路整然とわかりやすく語る。浄土真宗を学ぶための決定版。

■目次

- 序章 浄土真宗を学ぶということ—真宗学とは何か—
- 第一章 親鸞の宗教体験—親鸞の生涯—
- 第二章 親鸞の追求したもの
- 第三章 「仏から私へ」という世界
- 第四章 聖道門と浄土門 ほか

2刷 【仏教／真宗】



◆仏教の声の技——悟りの身体性

大内 典著・A5判・310頁・3,850円・ISBN:978-4-8318-6232-7

声明、真言念誦、念仏など様々な仏教の声の技は、どんな教理と救いのシステムを構築したか。身体の実践的力を考究した画期的試み。

■目次

- 第1章 初期天台における即身成仏論と身体
- 第2章 四種三昧の展開
- 第3章 観行としての声明—法華懺法にみるその美的表現力と権能
- 第4章 密教における声の技法—安然の「声」論から
- 第5章 念誦と成仏 ほか

2刷 【仏教】



法蔵館刊行予定案内

〈2025年5月 刊行予定〉

◆鎌倉仏教の中世

法蔵館文庫

平 雅行著・文庫判・298頁・1,320円・ISBN:978-4-8318-2695-4

【中世史／仏教史】

顕密仏教は治承・寿永の乱を乗り越え、中世社会を貫く文化体系へと発展した。顕密仏教を基軸に多様な角度から新たな鎌倉仏教像を描き出し中世史を再構築する意欲作。

◆「あて字」の日本語史

法蔵館文庫

田島 優著・文庫判・328頁・1,430円・ISBN:978-4-8318-2696-1

【日本語／日本史】

古代から現代まで、各時代の文献に出てくる多様な「あて字」を検証し、これまで言及されてこなかったあて字が必要とされた状況や背景、日本語に与えた影響を詳解。

◆曠野から——アフリカで考える

法蔵館文庫

【民族／思想】

川田順造著・柴田 翔・四方田犬彦解説・文庫判・328頁・1,430円・ISBN:978-4-8318-2697-8

西アフリカで出会ったサヴァンナに暮らす人々やとりまく環境を、精緻な描写と豊かな表現で綴る。人間存在の根源に迫った、人類学の碩学の代表的エッセイ集を復刊！

◆仁左衛門花実抄

宮辻政夫著・四六判・240頁・2,750円・ISBN:978-4-8318-6293-8

【芸能】

現代の名優、片岡仁左衛門の芸の特徴とは。表現している人物像はどの点が独自ののか。二枚目から色悪、神となる菅丞相まで、代表的な13役を通して、芸の核心に迫る。

◆近代仏教儀礼論序説

武井謙悟著・A5判・480頁・6,050円・ISBN:978-4-8318-5575-6

【仏教史／近代】

近代日本の仏教儀礼を主題とする本邦初の書。資料の博搜と分析から近代仏教儀礼の展開過程を辿り、研究の基礎づけを試みる。近代仏教史研究未踏の領域を開拓した労作。

法蔵館書店のおすすめ本

◆霊性の日本思想——境界を越えて結びあう

末木文美士著・四六判・301頁・3,300円〈岩波書店〉

王権と神仏の拮抗、近代における国家と宗教の一元化と批判、戦後の憲法制定と社会変容など、霊性を軸に新たな思想史の可能性が提示される。霊性をめぐる思想的蓄積から未来へ思考をひらく。

■目次

- I 王権と神仏——日本思想史を再考する
- II 霊性から近代を捉え直す



アジア遊学

◆性なる仏教

大谷由香編・A5判・201頁・3,080円〈勉誠社〉

仏教学・歴史学・美術史学など多様なフィールドの研究者が、女性や性的少数者など、仏教史上のマイノリティの存在に着眼し、仏教が想定してきた性のありように迫る。

■目次

- I 女性が出家すること／女性がさること
- II 性の超越と仏教
- III 理想化される女性像 ほか



◆曾我量深——生涯と思想

真宗大谷派教学研究所編・A5判・263頁・1,980円〈東本願寺出版〉

近代真宗教学の巨人、曾我量深。本書は曾我の生涯と思想を尋ね直し、その思想的課題や時代状況との関わり、そして生涯を貫いた志願を探究したものである。曾我量深に初めて触れる人も、これまで親しんできた方も、その思想に出会い直すことのできる一冊。

■目次

- 第一章 誕生から真宗大学での学び
- 第二章 浩々洞と師・清沢満之
- 第三章 明治の思想界との対峙
- 第四章 郷里での沈潜と思索
- 第五章 再び教壇へ ほか



筑摩選書0297

◆清沢満之の宗教哲学

山本伸裕著・四六判・297頁・1,980円〈筑摩書房〉

明治期、真宗大谷派（東本願寺）の一僧侶としてその半生を生きた清沢満之。生い立ちや時代的背景を踏まえ、「教」「行」「信」「証」という四つの観点から清沢の宗教哲学の根幹に迫る。厳密なテキスト読解によって定説を覆し、清沢の全体像と思想的意義を鮮やかに呈示した著者渾身の書。

■目次

- 序論 満之の生涯
- 本論 清沢満之の「教行信証」
 - 第一章 「宗教」の根本原理
 - 第二章 「行」の位置づけ
 - 第三章 「信」と「知」の関係 ほか



◆清沢満之の宗教原理論

藤島正雄著・A5判・182頁・1,650円〈幻冬舎〉

日本が世界に誇る哲人宗教家・清沢満之。その生涯と宗教的実験の光芒を追う。彼が生きた時代と人物像、宗教原理と実験、信念の考察と精神主義運動まで。哲人清沢満之の理解に必読の一冊。

■目次

- 第一章 清沢満之の前半生
- 第二章 宗教原理論
- 第三章 信念の考察
- おわりに



帰京後の親鸞—明日にともしびを11

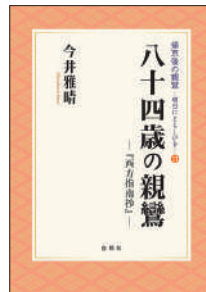
◆八十四歳の親鸞——『西方指南抄』

今井雅晴著・B6判・93頁・1,100円〈自照社〉

84歳の親鸞聖人が4カ月もの月日をかけて、師・法然聖人の法語や書状を集めた『西方指南抄』の書写に取り組んだのはなぜか。同書の内容を丹念に検証しつつ、その理由を探る。

■目次

- 1 京都と鎌倉の政治・社会動向
- 2 精力的な執筆・書写活動
- 3 『西方指南抄』
- 4 『西方指南抄』親鸞転写説について



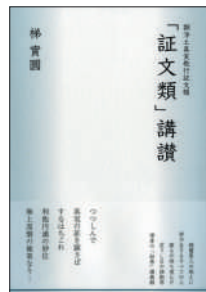
◆顕浄土真実教行証文類「証文類」講讃

梯 實圓著・A5判・221頁・4,620円〈本願寺出版社〉

真宗教学の第一人者として現在も深く敬慕される梯實圓勧学によって、丁寧に「証文類」を解き示した至高の講義録。梯和上のご往生から十年の時を経て、誰もが待ち望んだ一書に。

■目次

- 一 大証釈
 - 1 果体出願、証果徳相
 - 2 『無量寿経』第十一願、『無量寿如来会』第十一願 ほか
- 二 還相回向釈
 - 1 還相回向
 - 2 『浄土論』利行満足、出第五門、『論註』起観生信章、還相回向 ほか



◆「帰三宝偈」のころ

豊原大成訳、赤井智顕解説・B6判・70頁・660円〈聞真会（発売：自照社）〉

葬儀の際に用いられる善導大師『観経四帖疏』冒頭のこの偈文には何が説かれているのか。意識と解説により、大師渾身の「自信教人信」のお言葉を仰ぐ。本派「出棺勤行」の偈文・短念仏・回向句を掲載。おつとめや学習会にも好適。

■目次

- 帰三宝偈 [訳] 豊原大成
「帰三宝偈」のころ 赤井智顕
- 1 善導大師の勧め
 - 2 無上の信心
 - 3 迷いを断ちきるもの
 - 4 釈尊への告白
 - 5 菩薩への帰依① ほか



◆相応部(サンユッタニカーヤ) 大篇Ⅱ

片山一良訳・A5判・754頁・16,500円〈大蔵出版〉

相応部の全五篇のうち、最も「大きな篇」すなわち「大篇」の訳書である。全体は三十七菩提分法と呼ばれる、出世間法を中心にまとめられた、道・果・涅槃の説法である。本巻は、大篇「一二相応」(一二〇一経)のうち、後半の八相応、すなわち第五「正勤相応」～第十二「諦相応」、五五一経からなる。

■目次

第五 正勤相応	第九 禪相応
第六 力相応	第十 出入息相応
第七 神足相応	第十一 預流相応
第八 アヌルッダ相応	第十二 諦相応



原始仏典Ⅳ

◆小部經典 第二卷

中村 元監修・訳、前田專學監修、羽矢辰夫・矢島道彦・榎本文雄編、藤本 晃訳
A5判・480頁・10,450円〈春秋社〉

『パーリ語三蔵』『経蔵』の現代語訳シリーズ「原始仏典」が遂に最後の部である「小部」の刊行を開始！ 第2巻では成立が最も古くゴータマ・ブッダの肉声に近いとされる經典「スッタニパータ」と天界への転生事例集である「ヴィマーナヴァットウ」を収録。

■目次

スッタニパータ	第五 彼岸に至る道の章
第一 蛇の章	ヴィマーナヴァットウ
第二 小なる章	I 女性の天宮
第三 大いなる章	II 男性の天宮
第四 八つの詩句の章	ほか



◆インド論理学へのいざない

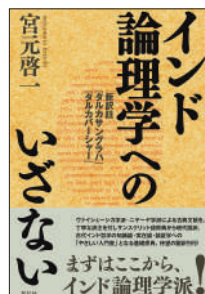
——新訳註『タルカサングラハ』『タルカバーシャー』

宮元啓一著・四六判・160頁・2,750円〈花伝社〉

ヴァイシェシカ学派・ニヤヤー学派による古典文献を、丁寧な訳注を付しサンスクリット語原典から現代語訳。古代インド哲学の知識論・実在論・論証学への「やさしい入門書」となる基礎原典、待望の翻訳刊行。

■目次

アンナンバッタ『タルカサングラハ』(論理学綱要)
ケーシャヴァミシュラ『タルカバーシャー』(論理学の基礎用語)



◆仏教を「経営」する——実験寺院のフィールドワーク

藏本龍介著・B6判・283頁・1,760円〈NHK出版〉

ブッダの教えは今、どんな「幸せ」を創造できるか？
ブッダの教えの再解釈を通じて、試行錯誤しながら新しい世界を想像／創造しようとしている実験的な寺院（実験寺院）である。筆者はこれらの寺院に研究者・修行者・経営者としてかかわってきた。本書はこうした経験に基づく人類学的記録である。

■目次

- 第一章 タータナ・ウンサウン寺院 ——「律」厳守の挑戦
- 第二章 ダバワ瞑想センター ——「善行」の共同体
- 第三章 実験寺院・實幢寺 ——「即身成仏」という理想



◆実録 ブッダの瞑想法 死のレッスン

地橋秀雄著・四六判・323頁・2,530円〈春秋社〉

ヴィパッサナー瞑想のエキスパートが体験した認知症の母の看取り。マインドフルネスと慈悲の瞑想を駆使して苛酷な介護現場を最期まで愛情をもってやり抜く経緯が、仏教的視座から追体験できる、今までにない「死へのレッスン」。

■目次

- 第一章 騒りゆく母
- 第二章 母の人柄
- 第三章 忍びよる死の影
- 第四章 福助登場 ほか



◆異界と転生論の宗教史

——人類は死後の世界をどう捉えてきたのか

下田 淳著・四六判・212頁・2,750円〈昭和堂〉

死後の世界や「肉体が減びても靈魂は生き続ける」という観念は、あらゆる民族に普遍的な考えである。人類が想像する「異界」（あの世）と「転生」（生まれ変わり）について、古今東西の神話や宗教、思想などを紹介しながら宗教史研究の立場から考察する。

■目次

- I. 世界宗教の異界概念
- II. 神話のなかの異界と「生まれ変わり」
- III. 東洋の転生論を読む
- IV. 西洋の転生論を読む
- V. 近現代欧米の心霊主義の転生論



中公新書2845

◆神道とは何か 増補版——神と仏の日本史

伊藤 聡著・新書判・343頁・1,210円〈中央公論新社〉

近代における再編以前の神をめぐるさまざまな信仰と、仏教などとの交流から浮かび上がる新しい神道の姿。補注と補論「神道と天皇」を収録した増補版。

■目次

- 序 章 「神道」の近代
- 第一章 神と仏
- 第二章 中世神道の展開
- 第三章 新しい神々 ほか



◆「謎」で巡る神社の歩き方2——神社創建の歴史2

——出雲大社、熊野神社、神魂神社、宇佐神宮、石清水八幡宮、
鶴岡八幡宮、伏見稲荷大社を中心に

島田裕巳著・四六判・229頁・1,980円〈啓文社書房〉

「無宗教」と捉えがちな日本人だが、実際は神仏と深くかわりながらその歴史を歩んできた。古来の先祖は何を想い、神々を祀ったのか？ 日本人の心を知るため神社の謎を探求する旅、第2弾！

■目次

- 第一章 出雲大社の国造はどうやって生き神になったのか
- 第二章 源氏はなぜ八幡神を深く信仰したのか？
- 第三章 伏見稲荷大社の千本鳥居はいつ生まれたのか？



◆日本怪異妖怪大事典 普及版

小松和彦監修・A5判・658頁・4,950円〈東京堂出版〉

国際日本文化研究センター「怪異・妖怪伝承データベース」に収録された怪異現象・妖怪名35000余件に準拠して立項し五十音順に配列。名称が異なるが同じ現象を指す事例などは大きな概念で一つの項目にまとめ、項目中に「別称」を併せ示した。項目は主として大中小項目で構成。各項目には、その異名も併記、まず解説を掲げ、各地の事例を掲げた。巻末に「異名索引」「地域別事例索引」等を付し、全国各地の怪異・妖怪伝承を地域ごとに把握できる。

■目次

解説

- 怪異・妖怪とは何か 小松和彦
- 妖怪と呪的なしぐさ 常光徹
- 現代の怪異・妖怪と都市伝説 飯倉義之 ほか



宝島SUGOI文庫Dふ-5-1

◆僧侶はなぜ仏像を破壊したのか

——国宝に秘められた神仏分離・廃仏毀釈の闇

古川順弘著・文庫判・223頁・880円〈宝島社〉

明治天皇の「王政復古の大神諭」にともない新政府が行った神仏分離によって巻き起こった廃仏毀釈から150年。日本の寺院、国宝が半減したといわれる明治維新の黒歴史衝撃的なビジュアル史料とともに、数々の具体的事例で日本宗教史における最大のタブーを読み解く!

■目次

- 第一章 神仏習合から神仏分離へ
- 第二章 寺院から分離して激変した神社
- 第三章 廃仏毀釈と古寺名刹の危機 ほか



◆宮沢賢治の動物誌——キャラクターを織り上げる

神田彩絵著・四六判・253頁・2,640円〈青弓社〉

宮沢賢治が創作した童話群「イーハトーブ童話」にはさまざまな動物が登場する。日本古来の伝統的な動物観とヨーロッパ由来の新しい動物観の交差で生み出された動物たちは、賢治文学、そして日本文学でどのような意味をもつのか。動物とともに作品世界を旅してイーハトーブ童話のルーツを探る、新しい切り口の賢治文学への招待状。

■目次

- まえがき——イーハトーブ童話のキアニマルたち
- 第1章 フクロウ——鳥社会の日陰者
- 第2章 クマ——唯一の対抗者
- 第3章 キツネ——本能にあらがう嘘つき ほか



◆平安貴族の和歌に込めた思い 続

——桓武天皇・在原業平・藤原頼通・紀貫之・菅原孝標女・待賢門院堀河・藤原忠通・平忠盛

今井雅晴著・B6判・159頁・1,980円〈自照社〉

シリーズ続篇。平安京を開いた桓武天皇、六歌仙の一人・在原業平、和歌文化の確立者・紀貫之、藤原氏の全盛期を築いた頼通など、平安時代に活躍した貴族8人の事績をたどりつつ、残された和歌からその真の人間像に迫る。

■目次

- 1 桓武天皇～平安京を開いた、文化力豊かな人間性の天皇～
- 2 在原業平～和歌の名人、政治的にも意欲的に活動～
- 3 藤原頼通～爽やか、友好的な人格で五十年もの政権を維持～ ほか



◆仏教由来の日常語事典

大正大学総合佛教研究所・現代日本語における仏教語源研究会編
四六判・278頁・4,840円〈丸善出版〉

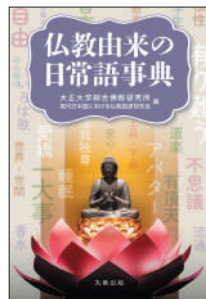
今から2500年前、お釈迦さまは生きとし生けるすべてのものが
幸せになる道を探し求めてさとり(悟り・覚り)を開いて仏(仏
陀)となり、誰もが幸せになる道を人々に説き続けられました。
柔軟な〈仏教〉の教えは人々の生活に浸透し、多くの〈仏教語
語〉が日常で使われるようになりました。そんな〈仏教語〉を、「現
代語としての意味」「仏教語としての語源」「用例」から専門用
語を用いず、平易な表現と分かりやすく解説した事典です。

■目次

第I部 仏典の成立・展開・翻訳

第II部 日常の仏教語

愛／愛嬌／挨拶／愛想／阿吽／諦め／阿僧祇／悪口(不悪口)／
アバター／阿鼻叫喚…… ほか



◆東西本願寺120のちがい

鎌田宗雲著・A5判・295頁・3,300円〈永田文昌堂〉

浄土真宗本願寺派の住職である著者が、東西本願寺の組
織・寺紋・荘厳・勤式・作法など120項目のちがいを紹介する。
また、歴史的な視点も踏まえて東西本願寺のちがいに着目
し、主にお東騒動に関して時系列で振り返りながら解説する。

■目次

- | | |
|------------------|-------------|
| (一) ふたつの本願寺 | (五) 御真影様 |
| (二) 東西本願寺120のちがい | (六) お東騒動の発端 |
| (三) 雑記帳 | (七) お東騒動の顛末 |
| (四) 一向一揆 | (八) お東騒動の経緯 |
- ほか



伝道ブックス91

◆被災地能登からのメッセージ 立ち上がる念仏

竹原了珠著・新書判・73頁・330円〈東本願寺出版〉

令和6年能登半島地震の被災者であり、復興支援の現場
に立ち続けている著者が、その体験を経てあらためて受け
とめられてきた念仏の教え、そして発災当初の動きについて
語る。

■目次

第一部

立ち上がる念仏

第二部

〈インタビュー〉令和6年能登半島地震から半年～被災地は今～
あとがき



法話CD「本願に生きた念仏者」17

◆光を蒙る

松本梶丸述・CD盤(収録時間:76分)・1,980円(東本願寺出版)

真実の教えは光としてはたらく。そして、その光はどこにでもあると語る松本氏。法話者が光を見いだした数々の出会いのエピソードに引き込まれ、思わず笑みがこぼれる、法を聞くことの喜びと驚きにあふれた名法話。

■目次

- 1 光はこの身に当たって下さる
- 2 光によってこの身が知らされる
- 3 光はどこにでも

※このCDは、1991(平成3)年4月28日、高倉会館で行われた「日曜講演」の音声編集し、収録したものです。



◆教師試験検定問題集16

——2022年(春季)～2024年(夏季)

真宗大谷派編・A5判・59頁・660円(東本願寺出版)

2022年春期から2024年夏期まで計6回分の「真宗学」「仏教学」「教化」「声明作法」「法規」の教師試験検定問題、解答のポイント(真宗学・仏教学)を収載。

■目次

真宗学
仏教学
教化

声明作法
法規

回答のポイント(真宗学・仏教学)――



法蔵館書店新着雑誌案内

◆同朋 4月号

〈東本願寺出版〉

真宗大谷派宗務所出版部編・A4判・56頁・400円

生活に密着した話題から親鸞聖人の教えまで、日々の暮らしのなかにある大切なことを見つめる月刊誌。

■目次

◎巻頭インタビュー Ginger Root(ミュージシャン)
懐かしさと新しさをミックスした、日本文化へのラブレター。

◎特集——縄文にドキドキ

◎連載

●息できる風景／森泉岳土(マンガ家)

●出会いの真実—嘆仏偈を読む／宮下晴輝 ほか

◆大乘 4月号

〈本願寺出版社〉

大乘刊行会編・B5判・88頁・375円

門信徒の家族が楽しく浄土真宗に親しむための月刊誌。お念仏のよろこびをご家族のみなさまにお届けします。

■目次

・DAIJO法話「命への眼差し」……中川大城

・ご機言! お寺の掲示板……江田智昭

・結婚してお坊さんになりました「眼差し」……前田純代

・なるほど仏教ライフ「今の安心」……西原祐治

・お坊さん み跡をめぐる Part2「赤野井別院」 ほか

特集1 世界の「服飾文化」について学ぶ

世界各地の服飾文化について、歴史や存在意義、機能性など日本と世界、昔と今はどういう違いがあるのか？ ファッションリーダーになった気分で学んでみましょう！

◆ファッションと東アジアの近代

劉 建輝・西村真彦・森岡優紀編

A5判・240頁・3,850円・ISBN:978-4-8318-5656-2

褌(ふんどし)、セーラー服、チョゴリ、旗袍(チーパオ)。華やかで個性豊かなファッションに織り込まれた国際交流の歴史を読む。〈法蔵館〉

新刊

ためし読み



◆カラー文庫 民族衣装

オーギュスト・ラシネ原著、マール社編集部編・文庫判・160頁・550円

1877年～1888年に刊行された“LE COSTUME HISTORIQUE”は、当時の石版印刷技術の頂点に立つ、金銀等を含む多色刷りの超豪華本。全6巻の中の民族衣装の部から抜粋し文庫サイズに。収録地域はヨーロッパと、その周辺のアジア・アフリカの一部。続篇は領域を極東や東南アジア、オセアニア、新大陸、アフリカへとより拡大。〈マール社〉

◆モンパ——インド・ブータン国境の民

脇田道子著・A5判・619頁・6,600円・ISBN:978-4-8318-6240-2

約15年にわたってモンパの人々の集団形成の様相や文化の変化を見つめてきた筆者が、インド北東部の国境地帯に住む少数民族の世界を初めてヴィヴィッドに、かつ学術的に伝える。衣装・宗教・儀礼・言語・観光などを通じ、細密かつ生き生きと描き出した力作。〈法蔵館〉



◆アジアの伝統染織と民族服飾

—— 豊穡なる生活造形の世界

道明三保子著・A5判・303頁・3,300円

東アジアからインド、ペルシャ、中央アジア。さらに中東からヨーロッパにかけて行き来してきた服飾・染織の世界を、現地でのフィールド調査、博物館における実物資料の分析と展示、文献の渉猟それぞれの方法によって進めた、アジアの染織・服飾文化研究の集大成。〈あっぷる出版社〉

◆江戸衣装図絵

—— 奥方と町娘たち【ちくま文庫き16-2】

—— 武士と町人 【ちくま文庫き16-3】

菊地ひと美著・文庫判・180頁・各1,045円

「奥方と町娘たち」は江戸の女たちの着物、髪形、化粧などを紹介する、服飾カラー大全。見て楽しい、読んで役に立つ。

装うことに目覚めた女たち! 「武士と町人」は武士から町人

まで、その衣装、髪形、履物、旅姿などを紹介する。江戸の男たちの服飾カラー大全でもあり、職業案内でもある。これが粋な男の伊達姿!

〈筑摩書房〉



◆増補 装束の日本史【平凡社ライブラリー976】

—— 有識故実の基礎知識

近藤好和著・B6変判・253頁・1,980円

日本史において、装束はただ着飾るためのものではなく、衣服の材質、色、文様、また装身具の選択に至るまで、厳密な規定に基づいた「身分の標識」だった。そうした装束の規定や構造を豊富な図像資料とともに解説する。天皇や公家、武家の装束から法体装束に至るまで、日本文学の読解や美術作品の鑑賞をより深めるための装束の基礎知識を網羅する小百科。

〈平凡社〉



◆ブツダの冠—— 仏・菩薩の持ち物〈考〉

西村実則著・B6判・206頁・1,980円

仏・菩薩像や修行僧が時代とともに数珠・香・薬・仏具・装身具などを身に付け、持つようになった起源はどこにあるのか、観音はなぜ冠をかぶるのか、などの謎に、ブツダの住時の姿を探り、インド仏教の基本から迫る。

〈大法輪閣〉



◆日本喪服文化史

増田美子著・A5判・365頁・8,580円

葬式における日本人の服装について、古代縄文時代から明治時代以降まで継承され続けてきた衣装(死装束、喪服など)および葬送儀礼の歴史を、様々な資料などを示しながら解説。葬送儀礼にともなう装い——「死装束・喪服」を形式的側面からみることにより、日本人の死に対する意識を明らかにする。

〈東京堂出版〉



特集2

性差別を考える

～春・新しい環境を乗り切るために～

最近夫婦別姓問題や性差別問題が毎日のように耳に入ってきます。新しい職場や学校で直面することもあるでしょう。今回は様々な見方でジェンダーについて考えてみましょう。

龍谷大学アジア仏教文化研究叢書8

◆現代日本の仏教と女性 ——文化の越境とジェンダー

那須英勝・本多 彩・碧海寿広編・四六判・256頁・2,420円
ISBN: 978-4-8318-6016-3〈法蔵館〉

仏教界に今なお根強く残る性差別の実態に、国内外の研究者と現場の僧侶たちが鋭く迫る。多文化共生が求められる現代社会に、ジェンダーの視点から日本仏教の未来を問う画期的書。



アジア遊学

◆性なる仏教

大谷由香編・A5判・201頁・3,080円〈勉誠社〉 ※詳しくは7ページ

仏教学・歴史学・美術史学など多様なフィールドの研究者が、女性や性的少数者など、仏教史上のマイノリティの存在に着眼し、仏教が想定してきた性のありように迫る。

◆狙われた身体 ——病いと妖怪とジェンダー

安井真奈美著・四六判・271頁・3,080円〈平凡社〉

日本の民間説話や絵画に現れる妖怪や怪異現象は、さまざまな形で私たちを襲ってくる「敵」として描かれたものが数多くある。歴史的に「弱いもの」とみなされがちだった女性のからだ、痛みや苦しみをうける人々の姿を、民俗学とジェンダーから読み解く画期的身体論。



◆「ものづくり」のジェンダー格差 ——フェミニナイズされた手仕事の言説をめぐって

山崎明子著・四六判・286頁・4,950円〈人文書院〉

手仕事をめぐると言説にはジェンダーの問題が潜んでいるのではない。学校での家庭科、戦時下における針仕事の動員、戦後の手芸ブーム、伝統工芸における女性職人、刑務所での工芸品作りなど、趣味以上・労働未満の創作活動を支えている、フェミニナイズ(女性化)する言説を探る。

お知らせ

2025年度 中外日報「宗教文化講座」

法蔵館書店
協賛・出店

テーマ:「いのちを育てる智慧に学ぶ——ネット時代を生きるために」

第2回:5月23日(金)「原点を見る」

善光寺大勧進(長野市)貫主: **栢木寛照氏**

(しんらん交流館・大谷ホール(JR京都駅中央口から北へ徒歩12分))

第3回:9月19日(金)「しあわせ眼鏡—仏教という人生の道しるべ」

真言宗須磨寺派大本山須磨寺(神戸市)副住職・寺務長: **小池陽人氏**

(京都テルサ・東館2階セミナー室(地下鉄烏丸線九条駅4番出口から西へ徒歩5分))

第4回:10月3日(金)「寺の未来」

臨済宗妙心寺派大本山妙心寺(京都市)管長: **山川宗玄氏**

(大本山妙心寺微妙殿(JR花園(京都府)駅[出口]徒歩12分))

※受講申し込み・お問い合わせ ⇒ 中外日報社 営業企画部(宗教文化講座事務局)

希望する講座、氏名、年齢、住所、電話番号をご記入の上、
ハガキ、FAX、メールでお申し込みください。

●受講料は1講座1,000円(税込)

〒601-8004

京都府京都市南区東九条東山王町9番地

TEL:075-682-1625 FAX:075-682-1722

Eメール: sbk@chugainippoh.co.jp

招待券プレゼント! 中外日報宗教文化講座へ5名様ご招待。

■応募条件
■応募方法
■締切

法蔵館書店へ招待券を取りに来られる方。

メール(p@hozokan.co.jp)で表題を「招待券希望」とし、お名前、e-mailアドレスを記しご応募ください。

4月30日23時59分到着分まで。

※招待券1枚につき全講座ご参加いただけます。抽選の上、当選者様にメールにてお知らせいたします。

2025.5.11(日)開催

おかざき別院フェスティバル

会場:真宗大谷派 岡崎別院 11:00-17:00

出店ブース(12:00-17:00)にて

- 書籍販売
- ブックカバー作りワークショップ
を開催します。

岡崎別院へのアクセス

市バスの場合: 32番、93番、203番、204番乗車『岡崎神社前』下車正面
電車の場合: 地下鉄東西線「蹴上」駅下車(徒歩15分)

京阪電車「神宮丸太町」駅下車(徒歩20分程度)

お問い合わせ: 岡崎別院 TEL.075-771-2921



気に入った板木・金版のスタンプで
オリジナルブックカバーを作ろう!

体験料: 有料

◆◆◆法藏館書店売行ベスト10(3月期)◆◆◆

順位	書名	著者名	出版社名	定価(税込)
1	死刑制度を問う—仏教・浄土真宗の視点から	大谷光真	春秋社	2,750円
2	儀式作法の心得 [新改訂版]	真宗大谷派大阪教区 出版会議編	真宗大谷派 大阪教区	440円
3	真宗大谷派 儀式軌範	儀式指導研究所編	東本願寺出版	3,850円
4	仏教ゆかりの生きもの図鑑	福田 琢:文 大島加奈子:絵	東本願寺出版	1,210円
5	ライフエンディングノート 生きることを始めるための遺言ノート	真宗大谷派首都圏 教化推進本部編	真宗大谷派 東本願寺「真宗会館」	300円
6	安心決定鈔(現代語版)	浄土真宗本願寺派	本願寺出版社	1,540円
7	曾我量深—生涯と思想	真宗大谷派 教学研究所編	東本願寺出版	1,980円
8	人間はなぜ争うことをやめられないのか	一楽 真講述	真宗佛光寺派	250円
9	東西本願寺120のちがひ	鎌田宗雲	永田文昌堂	3,300円
10	顕浄土真実教行証文類 「証文類」講讀	梯 實圓	本願寺出版社	4,620円

【メール配信サービスのご案内】

法藏館書店では、WEBサイトで本をご購入いただいた方やアンケートにお答えいただいた方に新刊情報などのメール配信サービスを行っております。

◎アドレス変更・配信停止について◎

<https://pub.hozokan.co.jp>のページ下の「メールサービス」から、メールアドレスの登録と解除を行ってください。過去のメールもご覧になれます。

◆ご注文・お問い合わせは、メールの他に、電話・FAX・はがきでも承ります。
店頭在庫がない場合はお取り寄せとなります。ご了承ください。

◆荷送料はご購入額合計により
定価16,500円(税込)未満 送料—550円 代引手数料 330円
定価16,500円(税込)以上 送料、代引手数料ともに無料

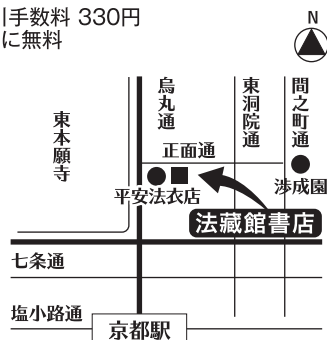
◆価格表示は全て税込価格です。

法藏館書店 友の会会員募集中!

友の会に入会すると、割引や来店特典など多数の特典をご用意しております。

仏教友の会 **検索**

法藏館書店 友の会 会員証

法藏館書店

住 所: 〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
電 話: 075-343-0458 FAX: 075-371-0458
発行人: 西村明高
E-mail: shop@hozokan.co.jp

<https://pub.hozokan.co.jp>

仏教の風

検索



— [営業日および営業時間] —
月～土: 9:30～18:00
祝 日: 10:30～18:00
(休業日: 毎週日曜日・お盆・年末年始)

法藏館ブログ「編集室の机から」を更新中!



facebook

つぶやき中～!